

新日鉱ホールディングス(株)の平成15年3月期連結業績予想について

株式会社ジャパンエナジー(以下「Jエナジー」)及び日鉱金属株式会社(以下「日鉱金属」)は、本年9月の共同持株会社「新日鉱ホールディングス株式会社」(以下「新日鉱HD」)設立後の事業運営体制についての検討を行う中で、平成15年3月期の業績見通しの取り纏めも進めてまいりました。

この度、新日鉱HDの通期の連結業績見通しを策定しましたので、下記の通りご連絡いたします。

記

● 新日鉱HDの平成15年3月期連結業績予想(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結(平成14年4月1日～平成15年3月31日)	21,600	480	400	170
Jエナジー前期連結(平成13年4月1日～平成14年3月31日)	20,834	277	254	3
対Jエナジー前期連結増減	(o) 766	(o) 203	(o) 146	(o) 167

注: 新日鉱HDの連結財務諸表は、Jエナジーの連結財務諸表を引き継いで作成することとなります。

配当等

新日鉱HDは、株式移転をなすべき日の前日の両社最終株主名簿に記載された株主に対して、その所有するJエナジーの株式1株につき2円、日鉱金属の株式1株につき5円の株式移転交付金を、それぞれの平成15年3月期中間配当金に代えて支払う予定です。

また、新日鉱HDの平成15年3月期の期末配当金は、1株につき4円とする予定です。

● 新日鉱HDの平成15年3月期連結業績見通しの概況

連結ベースにおける通期の業績については、売上高は、金属事業の子会社の増収等により対前期比766億円増収の2兆1,600億円と予想しています。

営業利益は、石油事業は前期の在庫取出損の解消等により増益、金属事業は金属加工製品の増販等により増益、電子材料事業は銅箔、ターゲット材の増販等により増益となり、その他の事業は販売用不動産の売上減を主因に減益となりますが、合計で対前期比203億円増益の480億円と予想しています。

経常利益は、営業利益及び金属事業における持分法投資損益が増益となり、受取配当金及び為替差益等のその他の営業外損益が減益となるため、差し引き対前期比146億円増益の400億円と予想しています。

当期純利益は、経常利益の増益と特別損益の改善を主因に対前期比167億円増益の170億円と予想しています。

なお、業績見通しの主要前提条件としては、為替レートは125円/US\$, 原油価格は25.2\$/bbl、銅価格は72.7¢/lbと想定しています。

 別紙を含めた本リリース全文はPDFファイルをご覧ください。[[ダウンロード\(PDF:8KB\)](#)]

(注) 本発表後12時間が経過する時点(2002年6月6日04時頃)までに、本発表内容を閲覧された場合、証券取引法166条3項および同施行令30条の規定によりインサイダー規制に関する第一次情報受領者となる可能性がありますので、十分ご注意ください。